

サンプル文①

リクエスト内容

総合でぼくたちのグループはようちえんの子どもたちと折り紙や読み聞かせをして遊びます。小さい子と遊んだことがないので、うまくできるか心配です。小さい子と遊ぶコツを教えてください。

小さい子と遊ぶコツを教えます！

わたしがいつもようちえんの妹と遊ぶときに大切にしていることです。このコツをおさえれば、きっとようちえんの子どもたちも楽しんでくれます。

1. できるまでじっと待つ

小さい子と遊ぶときに一番大切なことは、できるまでじっと待つことです。なぜかというと小さい子は自分でできるようになるととても喜ぶからです。

私の妹も、自分で服が着られるようになった時はとても喜んでいました。妹が服をうまく着られないときはつい手伝いたくなってしまいましたが、自分で服を着ることができてうれしそうにしている姿を見て、待ってよかったと思いました。

どうしても難しいときは少しだけ手伝ってあげたり、ヒントを教えてあげたりして、あせらずに待つとよいと思います。そして、自分でできたらたくさんほめてあげてください。

2. 簡単な言葉を使う

遊びの説明をするときには、できるだけ簡単な言葉を使うとよいです。この前、妹がイスから飛び降りようとしたので「危険だからだめだよ。」と言ったら「危険」の意味が伝わっていませんでした。例えば、「危険」は「危ない」、「読み聞かせ」は「絵本を読む」という簡単な言葉に変えるとよいと思います。遊びのルールが分かれば、いっしょに安全に楽しむことができます。

3 目線を合わせる

小さい子にとって、6年生は大きくて、立ったままだと顔がよく見えません。だれがどんな表情で話しているのかわからずに、上から見下ろされたら不安になってしまいます。しゃがんで目線を合わせて笑顔で話せばきっと安心してくれるでしょう。

この3つのコツをおさえれば、きっと小さい子も喜んでくれて、一緒に楽しく遊べると思います。

サンプル文②

リクエスト内容

ドッジボールで速く投げて当てることができません。どうしたら、〇〇さんのように、速くて強いボールを投げて当てることができますか。

速くて強いボールを投げるポイントはこれだ！

ぼくは、ドッジボールをする時に、いつもボールをとってから次のような順番でボールを投げています。

- 1 ボールを持つうでを大きく引く。
 - 2 後ろにかけた体重を前に移動する。
 - 3 体重を前に移動した勢いで大きいうでを前にふりきる。
- これから、それぞれの動作のコツを順番に説明するので、ぜひ試してみてください。

1 ボールを持つうでを大きく引くときのコツ

ボールを持つ手は写真1のように耳よりも後ろに大きく引きま
す。ぼくは、この時にうでが下がらないように気を付けています。
うでが下がってしまうと、このあと大きいうでを前にふりきるこ
とができなくなってしまふからです。

写真1（児童が自分の
デバイスで撮影）

2 後ろにかけた体重を前に移動するときのコツ

まず写真2のように体を丸ごと使って、体重を後
ろの足にかけます。次に写真3のように体重を一気
に前に移動させます。二歩くらい助走をつけると、
さらに勢いのあるボールを投げるができます。

写真2（児童が自
分のデバイスで撮
影）

写真3（児童が自
分のデバイスで撮
影）

3 体重を前に移動した勢いで大きいうでを前にふりきるときのコツ

体重を前に移動した勢いを使って、ボールをもって
いる方のうでを思いっきり、大きく前にふります。ぼく
は、ボールをはなす時に写真4のように手紙を返して
います。こうするとより速いボールが投げられるから
です。相手の上半身をねらうととらえてしまうので、
ひざより下をねらうとボールが当たりやすくなると思
います。

写真4（児童が自分のデバイスで撮
影）

1から3の動作をできるだけ速く行くと、だんだん速くて強いボールが投げられるようになり
ます。今度いっしょに練習しましょう。

サンプル文③

階段は、辛い？ 楽しい？

登下校中に必ず登る階段がありますね。この階段で、長いな、つらいなと思ったことはありませんか。私は、ときどき、そんなふうに思っているような背中を見かけることがあります。そこで今回は「辛くて、長い階段」から「楽しくて、あっという間の階段」になるコツを教えます。



1. 地域の方の思いを感じながら・・・

この階段をただの長い階段だと思っていないですか。そんなときは、ぜひ階段の周りの草花に注目してみてください。

春には菜の花畑を歩いているようで、とてもきれいです。時には、菜の花に、チョウが止まっていることもあります。ひまわりは、7月後半になると、とても大きくなります。そしてセミも鳴き始めて、「夏が来た！」と感じます。秋には、木の葉の色が変化していきます。このように季節によって周りの景色が変化しているのを楽しむのもすてきだと思いませんか。

実は、この草花は地域の方がその季節にあった植物を植えてくれているのです。地域の方に見守られていることを感じながら階段を登っていけばつらさもなくなるかもしれません。

2. 天気によって・・・

雨が降ると、晴れの時とは違う生き物が出てきます。例えば、カタツムリ、カエルは、6月になるとたくさん出てくるので、おもしろいです。雨の日は、何となく気持ちのらなかったり、いつもより荷物が重く感じたりするので、階段はよけいに長く感じるのかもしれません。

しかし、このように天気によって変わる生き物の変化を見つけながら歩くと、『長い階段』から『楽しくてあっという間の階段』に変わっていきます。みなさんもぜひ小さな生き物を見つけてみてください。

このように、階段にも様々な楽しみ方があるのです。ぜひ、みなさんも階段の楽しさや楽しみ方を見つけてみてください。